

佐川の複雑な地層が 多様な植物を育む

牧野富太郎が夢中になって植物研究に没頭したルート
を歩くと、多種多様な植物に出会えます。その多様性の
背景には佐川特有の地質・地層の形成が考えられます。
保水力が高い場所、湿地になる場所、固い岩脈など多様
な地質が形成され、そこにそれぞれの地質を好む植物の
群落が作られます。地層が複雑な故に多種多様な植物が
育ち、その多様性が富太郎を魅了したのです。

◆チャート・砂岩

チャートは放散虫の遺骸から出来た岩石で遠洋性堆積物を代表し、室原、深尾ルートの領域に多く牧野公園の物見岩もその一つ。砂岩は、陸源性堆積物の代表格で清原寺ルートの南域に多く見られる。遠洋や陸源の堆積物が混在する地層群は付加地質とも呼ばれる。



鳥ノ巣シユラ紀巻き貝
(オキナエビスの仲間)

◆断層

プレート運動や火山活動などの影響で地層がずれた部分。地層がずれて破壊された部分に地下水が通るので、気温差が小さく湿度が高いため、シダ類や苔、ラン科の植物が多く生える要因にもなる。

◆石灰岩・凝灰質泥岩

石灰岩はサンゴや貝などの殻を持つ生物の遺骸が固まったもの。凝灰質泥岩は火山灰と泥が混ざり固結した岩石。石灰岩にはジョウロウホトトギス、凝灰質泥岩にはヒメノボタンが自生しやすい。

佐川周辺の地質

牧野博士はよく化石を採取していました。昭和27年、町への手紙で佐川町の繁栄のため化石の博物館をと提言しています。博士は佐川の地質的特異性をも把握していたことが分ります。南北13kmの佐川町。その間にシルル紀から白亜紀までの約3億年の間に作られた地層が断層でチギレチギレになって折り重なる、日本でも稀な地域。佐川町は日本の地質学発祥の地。

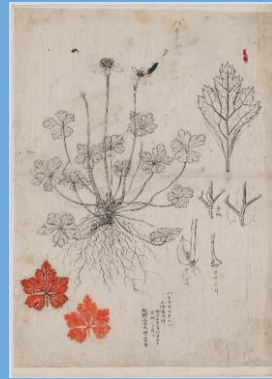
※色の違いが地層の違いを表します。

産総研「高知」地質図より抜粋・追記



牧野富太郎スケッチ図

高知県立牧野植物園所蔵
牧野博士が佐川で見つけた花々



バイカオウレン

佐川村 和紙/墨 1892



サギソウ

「日本植物志図篇」第1巻・第3集・第18図版の準備図
佐川・粕谷 1887



ヒメノボタン

「日本植物志図篇」第1巻・第6集・第34図版の準備図
佐川村 和紙/墨 1889



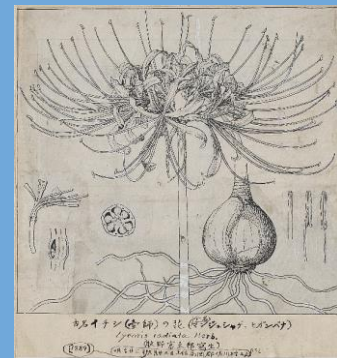
オンツツジ

佐川村の山地 和紙/墨



シハイスミレ

土佐佐川村 和紙/墨 1886



ヒガンバナ

「大日本植物志」第1巻・第3集・第10図版 準備図
佐川村 和紙/墨 1889

聖地を歩く
周遊ルートが
出来ました！

佐川さとやま遊友会

お問い合わせ先/0889-20-9500 (さかわ観光協会)

佐川さとやま遊友会は豊かで多様な自然とその恵みを、活かして次世代へとつなぐ事を目的に牧野博士の聖地の道の整備を実施。粕谷のサギソウ再生や道の維持管理などの活動も行っています。

アクセスと所要時間

- 高知駅-佐川駅 JR土讃線 55分 (特急 25分)
- 佐川駅-牧野富太郎ふるさと館 徒歩約 10分
- 岡崎登り口-室原登り口 徒歩約 15分
- 室原登り口-サギノス登り口 徒歩約 10分
- サギノス登り口-深尾神社登り口 徒歩約 25分



後援/佐川町・さかわ観光協会
牧野富太郎博士顕彰事業補助金を使用しています

各登り口までの
ナビはこちら
(GoogleMAP)



西谷・岡崎ルート
鳥ノ巣・室原ルート



青源寺・サギノスルート
深尾神社・牧野公園ルート

佐川 南山麓
周遊ルートマップ

聖地を歩く 牧野富太郎の



富太郎少年を植物の世界へ誘った山道

西谷～岡崎ルート

約510m 約20分

牧野富太郎博士の生家から続くこの道は富太郎少年にとって心躍る遊び場でした。バイカオウレンをはじめ沢山の植物との出会いは、やがて植物愛あふれる学者への道へと続きます。エダウチホングウシダなどの多様なシダ類も見ものです。



ユキフリイチゲ



断層

494

岡崎

西谷



エダウチホングウシダ



タニジャコウソウ



バイカオウレン

青源寺～サギノスルート

約1030m 約30分

深尾家の菩提寺だった青源寺から南に峠を越え武家屋敷のあったサギノスに抜ける山道です。途中の杉木立内には巨石で築かれた石垣が、また峠にはかつては休息所であったと思われる広場があります。道の途中には多色凝灰岩があり、富太郎少年が岩石をこすり、色水作りで遊んだとされる石ではないかと想像されます。



凝灰岩



ハラシダ

横倉神社

室原

サギノス



サカワサイシン

西ルート

東ルート

鳥ノ巣

センダンの木



センリョウ



オオキジメオ



キリシタン



ルリミノキ

鳥の巣公民館



オンソソ

愛宕神社



ヒメノボタン

断層

深尾神社～牧野公園ルート

約335m 約15分

江戸期の深尾土居屋敷から真北の峠を越えて奥の土居(牧野公園)に向かう最短ルート。峠の西側には佐川城跡や城防御の塹堀りも見ることが出来ます。また峠の南側は、深尾家が利用していた断層起源の水源地があり「清水谷」の名を残す場所でクルマシダなどのシダ類が多く見られます。200段の急な階段があります。



親子の狛犬



クルマシダ

ナウマンカルスト

ルート外ですが、深尾神社には珍しい親子の狛犬がいます。

自然を守るためのお願い

- ・植物は採らずにカメラで撮って下さいね。
- ・民家があります。ご配慮を！
- ・マムシやダニがいる可能性があります。注意してルート内を歩いて下さい。長袖、長ズボンをおすすめします。
- ・責任のとれる行動をおとり下さい。
- ・ゴミはお持ち帰り下さい。

断層と植物

西谷・鳥の巣ルートは断層に沿っていて、豊かな植生が見られます。青源寺・深尾神社ルートは断層を横切るようになっておりそこは植生が豊かではありません。その違いも感じて下さい。

青年期、博士がサギソウやヒメノボタンを採取した山道

鳥の巣～室原ルート

約1100m 約30分

ルート上には東西方向に走る断層があり、水が湧き出します。断層沿いにはシダや苔ラン類などの植物が、鳥の巣側には石灰岩を好む植物が見られます。富太郎は粕谷でサギソウを、愛宕神社でヒメノボタンを採取し写生しました。この道はスケッチロードなのです。1億年違う地層をまたぎ、その自然を感じて下さい。



長瀬川

新田留峠橋

田留峠橋

新田留峠橋

柳瀬川

佐川観光駐車場

地場産センター

佐川駅

33

至高知

至松山

名教館

旧浜口家住宅

金峰神社

青源寺

牧野公園

牧野公園

佐川城跡

深尾神社

清水谷

猿丸峠

伊藤蘭林生誕地

妙藏寺

